

は
ち
ち
み

http://hacchi.jp



vol.19

このまちがもっと、このまちらしく輝くためのソウゾウ開化…
「はっち」が贈る、おいしい情報。

海とともに生きる、見つめ直す魚食文化
はっち魚ラボ

まちぐみ
「やってみたい!」をカタチに変えて。まちぐるみで応援

八戸の魅力をアニメーション作品に
はちのへこっこ「ハマネコ」

hacchi event program イベント情報

年末年始に伴い、12月30日(火)・1月2日(金)・3日(土) は開館時間は10:00～18:00となります。

* ■はっちのお正月

1月2日(金)

八戸東高校書道ガールズによる書道パフォーマンスや法霊神楽の一斉歯打ちなど、楽しい企画盛りだくさん。

* ■はっち魚ラボ アーカイブ展／田附勝写真展「魚人」

1月24日(土)～2月22日(日)

■日本・韓国ダンス交流プロジェクト Dance Connection「플다／解」(pluda)

1月29日(木) 開演 19:00～(開場 18:30)
問合せ：八戸市まちづくり文化推進室 0178-43-9156

■文化庁長官表彰受彰記念シンポジウム

2月9日(月) 12:30～15:40
問合せ：八戸市まちづくり文化推進室 0178-43-9156

* ■八戸市民口ボコン大会

2月11日(水・祝)

八戸の名物「朝市」をテーマに中学校口ボコンとのコラボレーション。

* ■はちのへ雛めぐり

2月28日(土)～3月22日(日)

江戸・明治期の時代雛から華やかな現代雛まで、雛人形を展示。

* ■第3回はちのへ演劇祭

3月1日(日)～8日(日)

■釜戸展 消え行く左官の仕上を釜戸に見る

3月17日(火)～23日(月) 9:00～18:00
※初日は12:00～
問合せ：白石 吉広 0178-34-6584

* ■手仕事人の小さな暮らしと市

3月21日(土)・22日(日)

八戸近郊の作家が集まり、作り手との会話も楽しめるミニクラフト市。

* ■ストリート投げ銭ライブ in はっち

1月21日(水)
2月18日(水)
3月11日(水)・25日(水)
開場 19:00～

* ■ものスタブチフェスティバル

1月10日(土)・2月14日(土) ※3月は開催しません。
ものづくり体験の実施、この日限定のオリジナルフードを提供。

* ■モヨツテ参道の日 ～中心街におしゃれして出かけよう～

1月17日(土)・18日(日)
2月21日(土)・22日(日)
3月21日(土)・22日(日)

* ■和日カフェ ～日本文化に親しむ日～

1月18日(日)・2月15日(日)・3月15日(日)
いけばな体験、お茶席など。

* が付いているイベントは、はっちの自主事業です。

information 市内施設情報

八戸市美術館

■特別展 「ねこ 岩合光昭写真展」

12月20日(土)～2月8日(日)

動物写真家の岩合光昭さんが40年以上に及ぶ写真家人生の中で、国内外を問わず撮り続けてきた、愛くるしくもたくましいネコの写真展です。



イタリア・ボルトベネーレ
©MITSUAKI IWAGO

🕒 9:00～17:00(受付は16:30まで)
📅 12月29日～1月3日・13日・19日・26日
☎ 0178-45-8338
📍 <http://www.city.hachinohe.aomori.jp/art/>

八戸市博物館

■企画展 「えんぶり展」「ひな人形展」

1月31日(土)～3月8日(日)

えんぶりの起源を記す巻物や明治初期のえんぶり組の旗等、秘蔵資料を展示。館所蔵の江戸時代のひな人形は修理前最後の展示です。ユニークな東日本の郷土びなも勢揃い。



しほろんぎょう かみしもびな
芝原人形・裱縫

🕒 9:00～17:00(入館は16:30まで)
📅 2月9日・12日・16日・23日
☎ 0178-44-8111
📍 <http://www.hachinohe.ed.jp/haku/>

八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館

■考古学講座 「縄文時代の栄枯盛衰と中国文明の誕生」

1月10日(土)14:00～16:00

日本が縄文時代だった頃、中国大陸では各地で高度な文明が栄えていました。講座では中国先史時代研究の第一人者、東北学院大学の佐川正敏教授が縄文文化と中国文明との関連について紹介します。



縄文時代の生活の様子

🕒 9:00～17:00(受付は16:30まで)
📅 月曜日(第1月曜日・祝日・振替休日を除く)・祝日・振替休日の翌日
☎ 0178-38-9511
📍 <http://www.korekawa-jomon.jp/>

hacchi news はっちニュース

「第43回デーリー東北賞」を受賞しました!!

「デーリー東北賞」とは、1971年に地元八戸のデーリー東北新聞社が制定した、北奥羽地方の文化、産業、経済、学術、スポーツなどの各分野で功績のあった個人・団体に贈られる、歴史ある賞です。

この賞は、主役となってこの街を盛り上げてくださっている、地域や市民の皆さんとともにいただいたものです。はっちに関わるすべての方に、「ありがとうございます」そして、「おめでとうございます」。これからも皆さんとともに。



はっちに関わってくださるすべての方のおかげでいただいた賞です。

〈はっち情報発信中!!〉

f <https://www.facebook.com/hacchi8>

t https://twitter.com/hacchi_staff

iPhone 無料アプリ
i8nohe(あい・はちのへ)

その他、各社新聞、コミュニティラジオ BeFM でも情報発信中です。

八戸ポータルミュージアム「はっち」は地域の資源を大事に想いながら新しい魅力を創り出すところ。まちづくり、文化芸術、観光、ものづくり、子育てを軸とした活動をサポートする多様な設備を備えています。

八戸ポータルミュージアムはっち <http://hacchi.jp>
TEL 0178-22-8228 FAX 0178-22-8808

〒031-0032 青森県八戸市三日町 11-1
開館時間／9:00～21:00 ※こどもはっち開館時間 9:30～16:30
休 館 日／毎月第2火曜日、12月31日及び1月1日

はっちリレーションナルプレス「はちみつ」vol.19
発行：八戸市 まちづくり文化スポーツ観光部 八戸ポータルミュージアム 発行月：平成26年12月
表紙協力：すずき八戸店

street event まちなか情報

■「八戸ニューポート」オープン

八戸ニューポートは、ここを「港」として八戸の未来を創る人たちが出会い、交流する場所です。ユニークなアイデアや視点を取り込みながら、市民・企業・行政をつなぎ、中心街を活性化するための拠点です。オープンサロンやワークスペースを設け、八戸の人材・資源を紹介する冊子制作の企画や講座なども実施しています。

📍 八戸市十三日町15 フラワーエイトビル3階
☎ 0178-80-7272

■八戸えんぶり開催

800年の歴史を持つとされる、八戸えんぶり。期間中、館内ではえんぶりの公演を行うほか、衣裳着付け体験や人形展などを開催。なお、日程等詳細については、八戸観光コンベンション協会のホームページをご覧ください。



📅 2月17日(火)～20日(金)
📍 八戸観光コンベンション協会 <http://www.hachinohe-cb.jp/enburi>

【交通のご案内】

バス／八戸駅東口からバス八戸市中心街方面行き[約25分]
八戸中心街ターミナル(三日町)下車すぐ
JR／八戸駅からJR八戸線本八戸駅下車[徒歩約11分]
車／八戸駅から車で[約15分]
※一般来館者の駐車場はございません。
お近くの有料駐車場をご利用ください。





田附 勝 たつきまさる
1974 年富山県生まれ。1998 年、フリーランスとして活動開始。2007 年に写真集「DECOTORA」を刊行。2011 年発表した写真集「東北」で第 37 回木村伊兵衛賞を受賞。
<http://tatsukimasaru.com/>

八戸の魚食文化を楽しく掘り下げるプロジェクト「はっち魚ラボ」。4 月からさまざまなプログラムを実施してきましたが、その集大成となる展覧会を 1 月 24 日から開催します。

「東北」をテーマとして、5 月から鮫地区く金浜地区の八戸沿岸部の人々やその暮らしを撮影した写真家・田附勝さん。その目に映った「ハマ」の営みに迫り、八戸を再発見する写真展「魚人」。

そして、アーカイブ展では 10 か

1・2 月はっち魚ラボ集大成！写真展とアーカイブ展示

月間取り組んできた活動成果を展示。多様なプログラムで掘り起こしてきた八戸ならではの文化を今改めて見つめ直します。

普段あまり意識していない八戸の魚食文化。その大海を、今までにないアートな航路で進んできた「はっち魚ラボ」。

海とともに生きる街・八戸の豊かさを感じてください。



海と生きる水産の街・八戸ならではの魚食文化を楽しく掘り下げるプロジェクト「はっち魚ラボ」。

八戸のおいしい魚とその文化を味わいましょう！

田附 勝 写真展「魚人」

📅 1 月 24 日(土)～2 月 22 日(日)

📍 1 階 シアター 1 ほか

アーティストトーク

あかさかのりお
赤坂 憲雄 × 田附 勝

📅 1 月 31 日(土) 18:30～20:00

📍 2 階 シアター 2

【出演】赤坂 憲雄 (民俗学者・福島県立博物館 館長)
田附 勝 (写真家)

はっち魚ラボアーカイブ展

📅 1 月 24 日(土)～2 月 22 日(日)

📍 1 階 シアター 1 ほか



八戸の魚 × バリ島の民俗芸能「ケチャ」はちのへ魚ケチャ発表会

魚と「ケチャ」との融合。意外な組み合わせで、八戸名物ナンバーワンをめぐる「イカ」と「サバ」の戦いを表現した、「はちのへ魚ケチャ」の公演を 10 月 4 日(土)に開催。八戸東高校演

劇部員をはじめとする参加者の方々が作り上げた、前代未聞のパフォーマンスが繰り広げられ、八戸の新しい芸能が誕生しました。

※公演の様子は、YouTube にてご覧いただけます。



八戸の新たな味が誕生！！

11 月 2 日(日)、東京・築地市場「鍋グランプリ」に、はっち魚食ガールズの「イカサバ団子のトマト風味鍋」(八戸水産高校生徒 考案・榎金剛 監修)を出品。来場客からも好評で、「あっさりしているけどコクがある」「トマトとイカ、サバの旨みがうまくとけ合っている」などの評価をいただきました。

惜しくも入賞は逃しましたが、600 食を完売する大健闘！！またひとつ、八戸の新しい味が生まれた瞬間でした。



八戸名物の「イカ」と「サバ」を使ったオリジナル鍋を考案。

1 月 24 日(土) 14:00 から「はっち魚食ガールズ鍋」のおふるまいがあります！！

八戸の海岸線は、変化に富んで美しい。

大自然の野生の中に点在する、磨かれた玉のようなたたずまいの小さな漁港は格別だ。遠い昔から続いてきた浜の人々の営みがこの風景を創り上げた。

そののどかな港の景色とは裏腹に、漁師たちが潜る海の底は、身体が鯉のぼりのようになるくらい潮の流れが速いという。港を出れば、龍のようにうねる大海原。漁師たちは身体ひとつで海に立ち向かい、魚を獲る。

海は美しいが、恐ろしい。

怖さに向き合うと、生きているという感覚が裸にされていく。

釣り上げた魚を捕まえると、魚はあらん限りの力で身をくねらせる。

手に伝わるその勢いが恐ろしい。

さつきまで血が脈打っていた魚を、私たちは食べる。

生きることは、怖さと背中合わせだ。

魚を食べるとき、私は、浜の人たちの日々とやさしい浜のたたずまいを思う。

文／吉川 由美 よしかわ ゆみ

宮城県仙台市生まれ。宮城教育大学教育学部卒業。アートディレクター、演出家、当館文化創造ディレクター。文化施設の運営に携わるほか、文化芸術と、コミュニティ、観光、産業、教育、医療、福祉などの分野をクロスさせながら、アートの力で地域固有の価値を見出し、人と人との関係性を紡ぎ、新たな活力を産み出す活動を展開している。南三陸町で継続している「きりこプロジェクト」は 2013 年度ティアニー財団賞受賞。

写真／田附 勝 たつきまさる

はっち魚ラボ web サイト
<http://hacchi.jp/programs2/gyolabo/>

Facebook「はっちフィッシング」で検索！

そのほか街を楽しくするイベント

はっち開館 4 周年記念 文化庁長官表彰受彰記念シンポジウム

八戸市の市民力の源となる「アート」を通したまちづくりが評価され、平成 25 年度に青森県で初となる、文化庁長官表彰を受彰しました。これを記念し、八戸の取り組みを市内外へ発信するため、はっち開館 4 周年を兼ねてシンポジウムを開催。講演やパネルディスカッション、日本舞踊のパフォーマンスなど内容盛りだくさんでお届けします！

開 平成 27 年 2 月 9 日 (月) 12:30~15:40

場 1 階 はっちひろば



はっち開館 4 周年記念 八戸市民ロポコン大会

はっち流騎馬打毬ロポコン、せんべい汁ロポコンと続き、今年のロポコン大会のテーマは「朝市」。「中学校ロポコン」とのコラボレーションをお楽しみに。

開 平成 27 年 2 月 11 日 (水・祝)

場 1 階 はっちひろば



はちのへ雛めぐり

江戸・明治期の時代雛から華やかな現代雛まで、雛人形をはっちと中心街各所で展示。期間中、街なかには雛人形が飾られ、雛人形にちなんだサービスが受けられる店舗も。

開 平成 27 年 2 月 28 日 (土) ~ 3 月 22 日 (日)

場 3 階 ギャラリー 3、中心街各所

第 3 回 はちのへ演劇祭

演劇の街・八戸の再興を目指す「はちのへ演劇祭」も 3 回目となりました。今年は、演出家の中屋敷 法仁さん(劇団柿食う客)を脚本・演出に迎え、一般公募の役者たちとひとつの舞台作品を作り上げます。演劇界で注目を集める中屋敷さんと八戸市民とのコラボから何が生まれるか、乞うご期待！

脚本・演出/中屋敷 法仁
開 平成 27 年 3 月 1 日 (日) ~ 8 日 (日)
場 2 階 シアター 2

料 一般 1,200 円 学生 700 円

[主催]
はちのへ演劇祭実行委員会
八戸市【八戸ポータルミュージアム】



中屋敷 法仁



こどもはっちの空間イメージに合うように、山小屋のような温かい雰囲気、かつ、魅力的な商品群の邪魔にならないよう心がけました。こどもたちが楽しい気持ちになり、入ってみたいと思えるような雰囲気を作り上げました。



壁面の木材を塗ったよ！



小井川種苗店



何十年もこの場所でたくさんの種を販売している小井川さんは、芽を出し花を咲かせるお手伝いをしてきたお店。これからも世界に希望と安らぎを与え続けるお店であってほしいという願いを双葉で表現しています。



ボクが思いついたのは、ルイ・ヴィトンやシャネルなどの高級ブランド店のイメージ。「ルイ・ヴィトンみたいな仏具屋さんがあっても良いじゃないか!」これからの仏具屋さんは、これですね。



八戸葬祭



気になる変貌は現場で確認だ!!

平成 27 年 1 月 1 日 (木) 公開予定!!



まちぐるみ No.23 小枝ちゃん (左) と No.44 どんきみさん (右) と娘さん (真中)

「まちぐるみ」組員・協力店舗募集中!!

中心街にチラシを配ったり、組長と一緒にリノベーションのお手伝いをしたり、「まちぐるみ」組員としての活動を通じて「今まで知らなかったお店を知ることができた」などの新たな発見があるかも!?

私たちと一緒に街を盛り上げませんか? お気軽にはっちまでお問い合わせください。

また、「お店のイメージチェンジをしたい」という中心街のお店の皆様のご参加もお待ちしております!

After



着物と言え、あ〜れえ〜。でしょ? ユーモアとインパクトと話題性満載のディスプレイをすることで、街なかに新たな魅力と楽しい空気を生み出したいという、まちぐるみの想いを象徴する代表作です。



きものサロンたちば

以前参加した「八戸のうわさ」の評判が良く、今回山本さんから声をかけてもらい、これまでとは違う視点からお客様へ提案したいと参加しました。ディスプレイの写真を撮ったり、こどもたちは「あ〜れえ〜」と声を出したりと、今まで来店したことのない若い方も興味を示してくださっています。これをきっかけとして、はっちや街なかとも連携して店を活性化したいと思っています。



立場 勲さん

After



「優秀で将来も期待できる八戸で活躍する若手画家がいる」ということを広く知ってもらい。それが額装屋さんとのコラボレーションで実現しました。新築の店舗外観にまちぐるみの代名詞「日よけのれん」が温もりを与えています。



店舗に飾られた工藤さんの作品



はちのへ額装



稲田 八千代さん

工藤貢司さんの絵を飾った初日から反響があり、まちぐるみのシンボルののれんも好評でした。私自身もその絵に衝撃を受け、若い人がこれだけの仕事をしていることが嬉しくなり、ただ見ているだけでは駄目だと、お客様に感想をお願いしたところ、ほとんどの方が書いてくださり感謝しました。お客様との言葉や気持ちのやりとり・つながりを大事にしたいと、今回の参加を通して改めて実感しています。

のれんでお店の特徴を出せるのが面白く、街なかで元気になる活動なら何でも協力したい! と思い、参加しました。オシャレになったと好評で、お客様からの「まちの駅、変わったね」の一言が嬉しいです。今回の取り組みを通して、のれんがあることで他店も気になり、ほかのお店でも自分のお店のアピールをやって欲しいと思いました。やはり何事も変化していくことが大事ですね。



藤村 幸子さん



緑と水色が爽やかさを演出しているね☆



まちぐるみ No.12 あっちゃん

まちの駅はちのへ

入口の頭上に飾られた木製の柵は線路のイメージで、床に貼られた芝生と水色に塗られたマンホールの蓋は、街なかのオアシスのよう。15 周年の感謝とともに、お客様に癒しを与えながら温かく迎え入れてくれる、そんな雰囲気表現しています。



「まちぐるみ」組長 (アーティスト)
山本 耕一郎 まよも ころいちらう

1969 年名古屋生まれ。筑波大学卒。英国ロイヤルカレッジオブアート大学院修了。「アサヒアートフェスティバル」「トヨタ子どもとアーティストの出会い」などに参加。街の人たちのうわさが書かれたフキダシを商店街に貼り出す「うわさプロジェクト」や、小学生と一緒に街の人たちの記念日が書かれたカレンダーを作る「まちカシ」など、八戸でも開催し地域と深く関わるプロジェクトを展開している。2012 年から八戸市南郷区島守に居を構え、全国でプロジェクトを進行中。



大島 亜佐子 おおしま あさこ
布アート作家／映像作家。NHK
みんなのうた「ウメボシジンセイ」
の作詞・映像演出で映像作家デ
ビュー。刺繍や布を素材とした映
像やアート作品など多方面で活躍。
<http://migoto-co.com/>



坂本 サトル さかもと さとる
1967年青森県南部町出身。
1992年、JIGGER'S SON のボー
カル&ギターとしてデビュー。
1999年よりソロ活動開始。リリ
ス、ライブ、ラジオDJなど多数。
<http://www.sakamotosatoru.com>



三浦 祐紀 みうら ゆうき
八戸市番町の南仏料理店「ビスト
ロ ボ・デタン」のシェフ。八戸
ブイヤベースフェスタへ参加する
など多彩に活動。今回は劇中メ
ニュー2品の開発を担当。
<http://ameblo.jp/kyatatsu02/>



© Asako Ohshima

八戸の暮らしをアニメーション
「はちのへっこ」『ハマネコ』
映像作家の大島亜佐子さんによる布アニメーション作品「はちのへっこ」『ハマネコ』は、八戸の海をテーマに、八戸の魅力が凝縮された物語。
イサバのカッチャのスカーフ姿がマトリョーシカに似ていることからネコリョーシカを思いつき、八戸の伝統工芸品「南部裂織」を海に「南部菱刺し」を魚に見立てるなど、初めて八戸を訪れたアーティストの大島さんの感性が作品の隅々まで行き渡っています。声優や主題歌、劇中料理もすべて地元ゆかりの方による、郷土愛を育む温かい作品となりました。

【YouTube で映像を検索 !!】
YouTube のサイトで「はちのへっこ」と検索すると作品をご覧いただけます。

【企画・脚本・アニメ制作・作詞】 大島 亜佐子

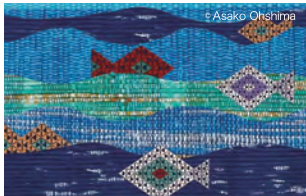
【主題歌作曲・編曲・演奏】 坂本 サトル

【劇中料理開発・制作】 三浦 祐紀

【声優】 増尾 桃佳（ハマネコ役）／ 慶長 侑真（カブ役）ほか八戸市民の皆さん

【劇中音楽作曲・演奏】 波多野 敦子 【撮影】 おくがわじゅんいち

【協力】 八戸ハマリレーションプロジェクト／井上 澄子／証谷 伸夫／株式会社アート&コミュニティ
慶長 広美／増尾 美香／加賀 浩之／奈良岡 富美子



はっちものづくり事業
ものづくりスタジオ入居者募集中

はっちでは、工房兼ショップの「ものづくりスタジオ」の入居者を募集しています。
あなたの小さなショップを始めてみませんか？

【募集内容】
■4 階 ものづくりスタジオ
[募集店舗数] 最大3店舗
[ジャンル] 例) クラフト(陶磁器・ガラス・金属加工・木工・フェルトなど)、デザイン、アクセサリ、雑貨、楽器など
[入居料] 15,420 円/月(駐車場1台分つき)
[応募条件] 3 年後、中心街に出店する意欲のある方
※入居にあたっては、書類・面談による厳正な審査があります。
[入居予定日] 平成 27 年 4 月 1 日(水)以降 ※募集は随時行っております。
《これまでに入居していたお店のジャンル》
南部菱刺し、漆塗り、キャンドル、布雑貨など

詳しい内容は、はっちまでお気軽にご相談ください。
TEL 0178-22-8228 <http://hacchi.jp>

はっち AIR 事業
平成 27 年度 レジデンスアーティスト募集中

コミュニケーションをつなぎ、
「まちのチカラ」を引き出すアーティストを募集します。

はっちでは、アーティストが滞在して制作を行なうことのできるレジデンス施設を備えており、平成 27 年度の滞在アーティストを公募しています。地域資源とアートとの結びつきに興味のあるアーティストの方の応募をお待ちしています。

【募集内容】
[事業期間] 平成 27 年 6～9 月
(上記期間で 30～80 日間)
[募集人数] 1 名 (団体の場合 3 名まで)
[ジャンル] 現代芸術の分野であればジャンルは問いません。

平成 25 年度アートプログラム
「ツール・ド・ハチノヘ」 by ポーワング
平成 26 年度アートプログラム
「ハチノヘものがたり」 by SAMA・YAMA

【募集締切】
平成 27 年 2 月 20 日(金)まで

詳しい内容は、はっちまでお気軽にご相談ください。
TEL 0178-22-8228 <http://hacchi.jp>

絵本てんぼうだいが新しくなりました !!

こどもはっちには、世界中のかわいい絵本が楽しめるコーナー「絵本てんぼうだい」があります。親子で絵本を読んだり、読み聞かせ会も行っています。また、8 月から絵本の貸し出しサービスも開始！たくさん本を借りて読んで、ポイントを貯めた方には素敵なプレゼントをご用意しています。親子で絵本を読むことでコミュニケーションや想像力を高めてみては？

20 冊借りると素敵なプレゼントが!!
たくさん本を読んでかわいいポイントシールを貯めよう！

先着順
こどもはっちおもちゃつき
1 月 18 日(日) 11:00～12:00
5 階 共同スタジオ
はちのへっどもフェスタ
2 月 22 日(日) 10:00～15:00
八戸市公会堂・八戸市民館
こどもはっちまめまき会
2 月 1 日(日) ①10:30～②13:00～
4 階 こどもはっち
なりきりひなまつり
3 月 1 日(日) 10:00～12:00
1 階 はっちひろば
※詳細はこどもはっちまでお問い合わせください。

知っておこう
施設を借りるときのポイント !!

作品展示やコンサートなど、さまざまなイベントではっちの施設を利用する際のお願いと、PR 活動に役立つ情報をご紹介します。

はっちスタッフと打ち合わせをしよう！
使用当日の運営を円滑に進めるため、会場レイアウトやタイムスケジュール、使用備品の確認など、具体的な内容についてははっちスタッフとの事前打ち合わせをお願いしております。
はっちスタッフが、作品展示や舞台設営、照明・音響設備などのアドバイスをいたします。会場の下見も可能ですので、お気軽にお問い合わせください。
※舞台、照明・音響設備を使用する場合や作品展示をする場合は、使用 14 日前までに打ち合わせが必要となります。

月間イベント情報、ホームページへ
催物情報を掲載できます！
はっちで行われる催物情報を、「月間イベント情報」とホームページへ掲載しております。
掲載を希望される場合は、開催月の前々月の末日までに使用料の納入通知書と併封している「イベント情報掲載申込書」をご提出ください。
また、施設使用申請書の記載に従い、当日案内板に催物名称や開催時間を掲載いたしますので、変更がある場合はお知らせください。

貸出施設紹介
Part3 食のスタジオ - しゃくスタジオ -
調理の様子を映すカメラとモニターを設置した、約 32 畳の調理室。
調理器具や食器類があり、2 台の調理台、冷蔵庫も備わっています。料理教室や調理実習などにご利用いただけます。
※備品等の使用には別途使用料がかかります。
また、入場料等や営業・販売がある場合は施設使用料が変わります。

【使用料の一例】
■そば打ち体験 9:00～17:00
[入場料等無料の場合]
施設使用料 3,390 円
■パンづくり教室 18:00～21:00
[材料費 500 円の場合]
施設使用料 1,800 円

天井には大型モニター 2 基(有料)を設置しており、料理対決等のイベント開催も可能。
鍋やフライパン、食器(和・洋)、まな板、包丁などを無料で貸し出しています。
※貸出備品は数に限りがあります。ご了承ください。

7

6